

【進路支援について】

進路支援のための教職員の組織は、就職委員(教員)と事務局キャリア相談室担当職員及びクラス担任で構成している。

就職委員とキャリア相談室は、月1回定期的に就職委員会を開いて情報交換を行い、連携・協力して組織的な活動を実施している。この他、少人数教育の利点を生かして、日常的に3学科とも就職委員とキャリア相談室を中心に、クラス担任及び学科長と常に情報交換を行っている。

在学生の進路希望状況と活動状況の把握については、各学科の就職委員とキャリア相談室が連携して、入学後間もない5月～6月時点で第1回希望調査を行い、以降卒業までの2年間に数回実行している。その調査結果は、個人の希望と適性に応じた支援活動を行う基礎資料として関係者で共有・活用しており、その資料を基に、主としてクラス担任・就職委員による就職・進学に関する個別面談・指導も継続的に行っている。

就職に関わる資格取得や各種支援については、進路年間スケジュールに沿って卒業までに数回にわたって行われる各学科の就職ガイダンスを始め、履歴書作成や面接の方法等に関する就職試験対策講座や、各学科の専門性を生かした就職先となる音楽教室等の関係者(ヤマハ、カワイなど)、福祉施設、企業人事部等に依頼して催される学内企業説明会などが実施されている。また、隔週金曜日には、ハローワークのジョブサポーターによる学内相談会が行われ、ハローワーク職員が直接相談に応じる体制を整えている。

保護者に対しては、6月に保護者対象就職支援講座を実施し、学生、保護者、教職員が連携して、就職活動ができる体制を整えている。

また、3学科1年生全員を一堂に集めて、就職・進学活動開始前の1月末に、進路活動を開始する仲間同士の連帯感を深めて各自の進路活動に取り組めるよう、学長はじめ各学科長等から励ましの言葉を贈る就職(進路)活動激励会を実施している。

就職・進学は短大生活のいわば集大成であり、本学としてもそのことに対応できる進

路支援体制を整えるとともに、全教職員で協力し、学生に対する必要かついねいな支援を行っている。